

3.6.21

印刷資本家組合幹部に抗争せる

中屋の同志を勝たせ!!

九時間制即行、賃銀値上をせよ!!
百五十余名罷業を決行す

東京府下大井町中屋印刷所の吾等従業員は、十何年のながき忍従の徳をすて、遂に會社と闘争を開始した。

吾等としてこれ以上に忍従するには、會社の態度はあまりに横暴千萬なのだ。その故に吾等の生活はあまりに惨ぢ目にするのだ。こゝに至つて最早や徳は忍従しあるのではなくて、闘争にあるのだ。吾等は斷じて、闘争する。

社長鈴木正平氏は、古くから勤王の精神に對する愛、深き親切心か「労働者の待遇を留意する立場に於ては、同腹揉業、恣意等の勞資間の争議、風潮は起らない。よろしく資本家は反省すべし」なさし、筆や口によつて主張し、あつぱれ温情主義者を以て自ら任じ、他人も亦しかく信じてゐるほきに、有名な温情主義者である。が災難なのは吾等従業員である。吾等に與へられた彼の温情施設なるものに、いつたいせんたい何かがあるか。毎月一回社例に雇はれてくると講評師の美談などでは腹ははいにならないのだ。吾等の見るところ、彼の温情なるもの正體は、職長たちに忍従を以つて「従業員を威嚇に働かせる」といふもの以外ではない。

吾等は知つたのだ。温情主義が如何にベテンであり、胡麻化してあるかといふことを。そして社長鈴木正平氏こそ、そのベテン師、胡麻化師の典型的なものであると云ふことを。

蒲田の三省堂印刷所は蒲田から移轉した時、労働時間を八時間半に短縮し、なほ電車賃十五錢、蒲田手當六錢を毎日支給し、今日ではそれは本給にくり入れられてゐるのである。また自銀の富士印刷所は八時間制であり、その他、大崎の小島印刷、葛月堂、三成社など十時間以下に短縮してゐるのである。しかるに中屋印刷所は、京橋から府下大井町へ移轉したとき、社員には電車賃を支給し、印刷物運搬のためにはオートバイ及び自動車を購入したほき、庶下に移轉した不便を知りながら、吾等従業員には電車賃どころか、「明日から大井へ通へ」の一言で済ましてしまつたのだ。また今年の正月には、昨年と同様の故に遠慮した仕事始めの一日分を、づう／＼しくも儲けようとした等、吾等の忍従をいゝ氣にしてつけ上る、以上の如き會社の無情さ、その故に侮らむにされた吾等の生活は、つひに吾等を驅つて闘争へ起たしたのである。

これでもなほ我等は忍従すべきであるといふか。
しかし乍ら 吾等はあくまで譲讓の態度をもつて、社側の反省にまつべく、當然過ぎる吾等の要求を、なほ譲つて六月十八日迄の

- 一、労働時間を一時間短縮せられたし
- 二、賃銀を二割増給せられたし

の二項を噴願したのである。しかるに會社は吾等の譲讓を知らず、理非理を論ぜずに拒絶して來た。こゝに於て吾等はつひに最後の決意をなし、あくまでも抗争すべく、直ちに噴願書を送り求めしして

- 一、この争議による解雇者を出さざること

親愛なる同志諸君!!

理解ある市民諸君!!

吾等は吾等の正しき主張を降服させはしない。
吾等は吾等の正しき主張の勝利する日まであくまで戦ふことを宣言する。
この戦ひの勝利のためあらゆる物質的・精神的應援を送られんことを。

一九二六年六月

中屋印刷所争議團
東京印刷工組合京濱支部
東京印刷工組合

東京印刷工組合
東京市京橋區木挽町二ノ十、甲小石川區西丸町十九

全國労働組合自由聯合會
全國印刷工聯合會